

日本橋七福会からのお願ひ

参拝期間／元旦から一月七日まで
参拝時間／元旦は午前零時から午前二時まで（授与品の頒布は午前一時まで）
一日から七日までは午前九時から午後五時まで

授与品／【授与期間】元旦から一月七日まで
色紙巡拝用・二〇〇〇円・巡拝用宝船・一五〇〇円

御神像・五〇〇円（御神像のみの頒布は行なっておりません）

【授与期間】元旦から一月十五日まで

揃い色紙・二〇〇〇円

揃い宝船・五〇〇〇円（御神像七体を含みます）

御朱印／初穂料・三〇〇円

（御朱印帳をお持ちください。特殊なものへの御朱印はお断りする場合もございますので御了承ください）

期間中、七福神巡り以外の参拝者で混雑する神社もございますので、何卒御了承ください。

期間中は観光バス各社の運行がございます。時間の都合上乗客の優先参拝をお願いする場合がございますので、

何卒御了承ください。

各神社社務所内のお手洗いは防犯上お貸しできませんので何卒御了承ください。

七福神めぐり

七
福神への信仰は、室町時代より始まったといわれ、
五〇〇年にわたって日本人に受け継がれ、年々盛んになっております。
日本橋七福神は他所とは異なり、すべて神社で構成され、しかも日本で一番巡拝が短時間にできるという特長を持っています。
下町情緒に触れながら、参拝いただきますよう、御案内申し上げます。

笠間稻荷神社 寿老神



DATA
中央区日本橋浜町
2-11-6
03-3666-7498

日本三大稻荷のひとつ茨城県・笠間稻荷神社は笠間藩主牧野家により代々厚い信仰が寄せられてきた。江戸時代末期安政6年(1859)藩主牧野貞直公が笠間から御分靈を江戸下屋敷(当地)に奉斎したのが始まり。以降、牧野家のみならず日本橋魚河岸の守り神として、五穀・水産・殖産興業の守護神として商人庶民間わざ広く信仰を集めた。寿老神は長寿の神にしてお導きの神・幸運の神として人々の運命を開拓して下さる福德長寿の守護神です。

小網神社 福禄寿



DATA
中央区日本橋小網町
16-23
03-3668-1080

健康長寿の福禄寿と財運向上・学芸成就の弁財天は、神社と同じ境内地にあった万福寺におまつりされていました。稻荷神を主祭神とする小網神社は約550年前の文正元年(1466年)疫魔鎮静の神として鎮座。太田道灌公の崇敬も篤く、社名も道灌公が名づけたといわれます。社殿(昭和4年建立)が戦災を免れたり、同神社の御守を受け戦地に赴いた兵士全員が無事帰還したことなどから、近年「強運厄除の神」として信仰を集めています。

宝生弁財天 水天宮仮宮 弁財天



DATA
中央区日本橋浜町
2-30-3
03-3666-7195

久留米藩第9代藩主、有馬頼徳公「ありま・よりのり」が、加賀藩第11代藩主、前田斉広公「まえだ・なりが」と、宝生流能楽の技を競われた際、弁財天に願をかけ、見事に勝利を収め、それ以来、宝生弁財天と敬われている。芸事をはじめ学業・金運のご利益が名高いと現在に至るまで篤く信仰されている。また、水天宮本殿についても文政元年(1818)に江戸上屋敷(三田赤羽橋)の邸内に祀ったことが始まり。

末廣神社 毘沙門天



DATA
中央区日本橋人形町
2-25-20
03-3667-4250

当社は慶長元年(1596年)以前に稻荷祠として鎮座。この地にあつた葭原(吉原)の氏神として信仰された。延宝3年の社殿修復の際に中啓(末廣扇)が見つかったことから末廣神社と名付けられる。幕府に仕える武家からの崇敬も篤く、旗下火消頭に庇護や祭事の奉仕もさせている。毘沙門天の御神徳は勝運向上が有名だが、その昔当社は疫病鎮めの信仰も集めたことから病氣平癒はもちろん、厄除け、財運向上、福德繁榮など多聞天の別名とのおり、今では様々な御神徳を求めて祈願する参拝客が多い。

柏森神社 恵比寿神



DATA
中央区日本橋堀留町
1-10-2
03-3661-5462

遠く一千年前創建にして、天慶三年(940)田原藤太秀郷戦勝を祈願し強敵を亡ぼす、偏に神助に依ることと、白銀の狐像を奉納す。文正の頃、関東一帯連年旱魃ありて、太田道灌、当社に詣で乞い祈らばその靈験あり、尊敬のあまり山城国稻荷山五社大神を祭祀す。特に神道家の吉川惟足は信仰厚く、五社稻荷の一社なる大己貴大神の御宣託に依り、恵比寿大神を奉斎せられ、今日に至るも年々盛大に、祭典を執行せり(10月19・20日)。江戸名所図会等にも掲載。

松島神社 大国神



DATA
中央区日本橋人形町
2-15-2
03-3669-0479

創建は口伝によると、鎌倉時代の元亨(1321)以前と推定される。昔この辺りが入り海であった頃小島があり、柴田家の祖先が下総の国からこの小島に移り住み、邸内に諸神を勧請し、夜毎掲げる燈火を目標に、舟人が航海の安全を得たと伝えられる。天正13年(1585)2月13日、邸宅を公開。島内松樹鬱蒼たるにより、人々松島稻荷大明神と唱えた。御祭神は大国主神をはじめ、ご神格の高い神様が、14柱と他社に比べて多い。

茶ノ木神社 布袋尊



DATA
中央区日本橋人形町
1-12-11

「お茶ノ木様」と町内の人間に親しまれている茶ノ木神社の御祭神は倉稻魂大神。昔この土地は徳川時代約三千坪に及ぶ下総佐倉の城主(十八万石)大老堀田家の上屋敷であって、この神社はその守護神として祀られたものである。社の周囲に巡らされた土提芝の上に丸く刈り込まれた茶の木がぐるりと植込まれ、芝と茶の木の緑が実に見事であったと伝えられている。今でも防災・生産の神様として信仰を集めている。

日本橋七福神 巡拜地図

